

マザアスニュース 第28号

ひだまり

2003年4月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

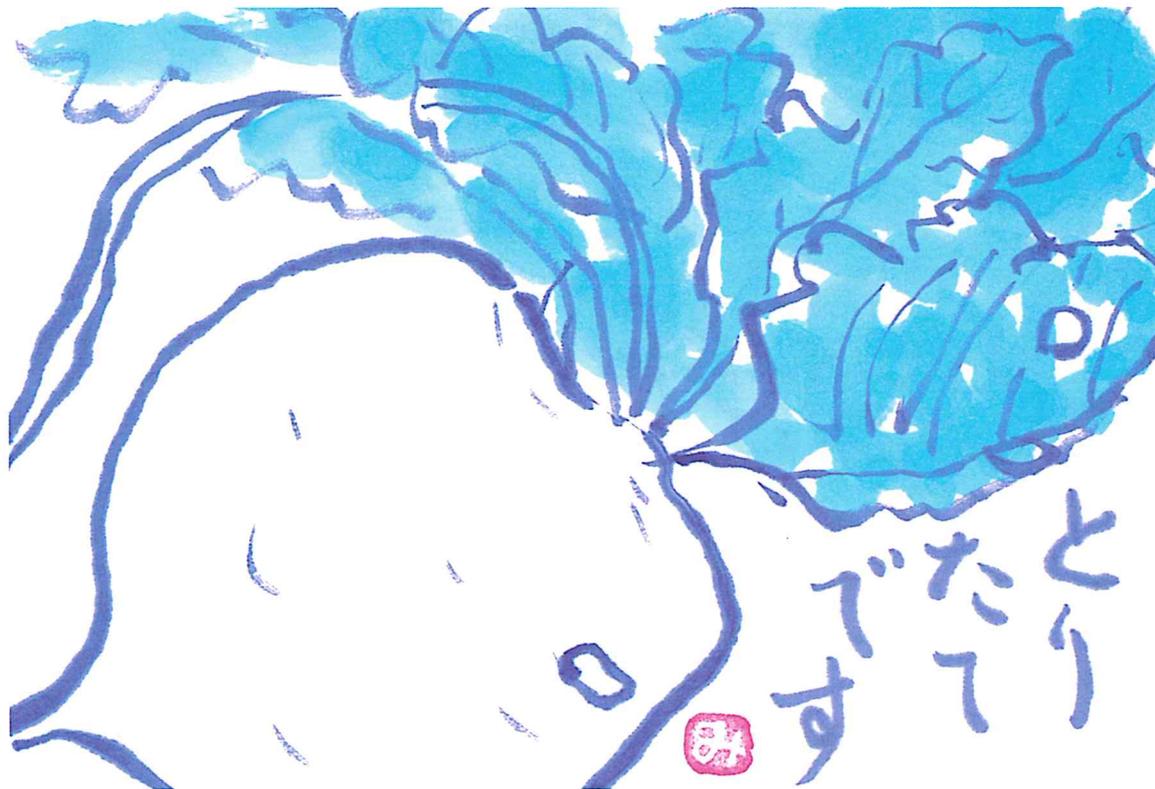
Tel 0424-77-7261

Fax 0424-77-7500

HP <http://www.moth.or.jp>

発行責任者/高原 敏夫

編集責任者/萱野 彰一郎



↑毎月ボランティアで絵手紙の指導をして下さっている相場みつ様の作品です

マザアス・デイサービスの現状と今後の展望

在宅サービスセンター長 田中 洋一

デイサービスセンター・マザアス氷川台はこの5月で開設以来8周年になります。後発のマザアス大門は7月で4年になります。開設当初は数人のご利用者でしたが、今では氷川台が1日の定員45名、大門が一般デイサービス・生きがいデイサービスとも1日定員15名と、それぞれご利用いただいている方がたいへん多くなっております(平成15年度中には定員増も考えております)。これも地域の皆様方のご理解に支えられて今日の状況につながっていると思っており、同時に良いサービスをおこなうことは当然のことながら施設の使命でもあると考えております。

年々高齢化が進む中、ご利用者のADL(日常生活動作)のレベルも年齢とともに徐々に低下してしまいがちです。施設としてはリハビリ、プログラム、声かけなどによりレベルが低下しないよう懸命に努めておりますが、

現状維持のレベルで経過される方が大半です。長期間ご利用者のADLを安定させるには、どうしてもご家族の協力が必要になってまいります。これはご自宅で過ごされているときの様子が、施設でケアしていく中で最大限重要だからです。ご自宅や施設内での言動、体調をふまえデイサービスでは個人個人の介護計画を作成しなければならないのです。

特に最近言われるのは、いわゆる「レスパイト(介護者の休養)」だけでなく、ご利用者自身が満足していただけるよう中長期的単位で個人個人の介護計画の見直しをし、質の充実とさらなるサービスの向上をはかることです。一層の施設サービスの内容を高め、地域の皆様より以上の信頼も高めるため、今年度マザアス・デイサービスセンターはこれらの重要テーマに挑戦し確実に実行していきたいと思っております。

私を **デイ** に連れてって!

マザアスの デイサービス紹介

★ デイサービスセンター・マザアス氷川台は、介護保険法に基づき、原則として要支援から要介護1～5までの介護が必要な方にサービスを提供する機関です。

併設型デイサービス マザアス氷川台

特別養護老人ホームに併設。趣味活動やグループ活動を通じた仲間づくり、健康づくりを支援し、ご家庭で入浴困難な方はセンターにて入浴していただけます。1日35名定員です。

建物の3階ということもあり、朝から日があたり真冬でも暖房がいらないくらい明るく暖かです。利用者さんの一番のりの方が来所し「おはようございます」の大きな声が続きます。次から次へと利用者さんが元気な顔を見せてくれます。ほら、もうあそこで井戸端会議が…。「まあまあ、座ってからゆっくりお話下さい。おいしいお茶を入れますから」と職員の声が聞こえます。

ケアワーカー副主任 斉藤 良子

痴呆専用デイサービス 湧泉の郷

痴呆性高齢者に意義のある生活を営んでいただくために、食事、入浴、健康チェックや趣味活動を提供し、皆様の情緒安定や社会性の維持が図れるよう援助いたします。

マザアス氷川台内にある湧泉の郷には1日定員10名の方が来所されてきます。毎日違うメンバーと4人の職員が交代で、1日を楽しく過ごしています。歌を好む方、手作業の得意な方、レクで大活躍する方…本当に皆さんの笑顔が絶えない場所です。季節ごとに作品作りをしたり、音楽で声を出したり、毎月の行事もかかせません。一緒に過ごす時間の中で、皆さんの個性を引き出せる様、目指しています。

ケアワーカー 酒井 明美



1日の流れ

- ・お迎え 職員が自宅に伺い、バス乗車をお手伝いします。到着したら、お茶を飲んでゆっくりおしゃべりします。体温、血圧チェックも行います。
- ・朝の会 季節、時事的なお話を中心に全体での親睦を図ります。
- ・体操 全員で座ったまま、音楽に合わせて行います。
- ・昼食 お粥やきざみ食など各々に適した食形態をご用意しています。
- ・排泄介助 トイレへの誘導、必要に応じてパット、おむつの交換等を行います。
- ・プログラム活動 手工芸や書道、陶芸などその日のプログラムを職員と一緒にを行います。季節の行事(お花見、運動会、七夕、秋光祭、新年会、節分等)。
- ・おやつ 軽いおやつとお茶をお出しします。
- ・お送り 職員がご自宅まで付き添い玄関までお送りします。

職員の紹介

- ★新婚2年目、何とかがんばっています。今坂
- ★“いつも元気な笑顔で!”をモットーにしています。 副島
- ★一男三女、子育てに仕事に奮闘中です。島崎
- ★新しく入った古川です。声かけて下さいネ。 古川
- ★若さで勝負!!がんばってます。 小野
- ★まだまだ若いつもりでがんばります。 池田
- ★毎日、元気一杯ペダルをこいで通勤しています。 池添
- ★氷川神社の坂が自転車で昇れなくなりました。 内野
- ★“いつも笑顔で”をモットーに頑張ります。(あれ、副島さんとおんなじだ) 原田
- ★まだまだ子育て中。精神安定のため毎晩、音楽を聴いています。 川口
- ★疲れをふきとばし?笑顔でがんばりたいです。 藤野
- ★「若く明るい歌声に～♪」湧泉に来てから懐メロが好きになり、カラオケで必ず一曲は歌ってしまう自分が怖い…。 向田
- ★ジムに通って体力作り。その後はサウナにお風呂に最高です。 酒井
- ★最近、眼鏡を放せなくなりました。 斉藤
- ★「地上の星♪」を聞きながらがんばってます。 吉田

声の欄

デイサービスセンター マザアス大門

マザアス大門は、平成11年7月、東久留米市東部地域センター内にデイサービスセンターが開所して、まもなく4年が経とうとしています。開所当初は1日に利用される方が4、5名と少なかったのですが、最近では、1日の定員である15名近くの方々にご利用頂いています。

マザアス大門では、介護保険によるデイサービスと東久留米市より委託されている生きがいデイサービスとの2つをおこなっています。

デイサービスの1日は、朝の会から始まります。

その後には本来は体操をおこないたいのですが、朝の会でみなさんといろいろな話題で盛り上がりすぎて、お昼になってしまうこともあります。昼食後はみなさんがそれぞれに趣味活動をおこなっています。また、年に数回、外出や外食をおこないます。桜の花を見に行ったり、紅葉を見に行ったり、自然の風景を見に行ったり…。

みなさんが楽しく、元気に過ごしていただけたらと思います。

健康管理は私にまかせて! 看護師 松永 真子

マザアス大門はいつも和やかな雰囲気の中に活気があります。皆さん痛みや障害がありながら笑顔が絶えません。私はその中で通常の看護業務以外に利用者個々の疾病や薬などの悩みや相談に対応し、少しでも解決出来るよう努めています。又、年四回の健康教室や月一回歯科衛生士による食後の口腔ケアを行い、その他市報などの健康情報をお知らせし、利用者健康への関心を持って頂けるよう心掛けています。老いは誰もが通る道、楽しく生きがいを持って過ごせるようこれからも利用者の健康維持のお役に立ちたいと願っています。



「鬼は外!」「あっかんべー」

春・夏・秋・冬 調理員 追掛 直子

調理場の1年をご紹介します。桜の季節から萌える若葉の季節を過ぎ梅雨を迎える頃、調理場は蒸し風呂状態になり、盛夏の頃温度計は30℃以上に…首に巻いたタオルは1時間もすればぐっしょり。暑さと戦いながらも痩せることもない。やがて秋風が吹き、しのぎやすい日々も束の間、北風の訪れと共にババシャツ・スパッツを着込み、脂肪に覆われている体にホッカイロをペタペタ。寒いと言いながらも風邪をひくこともない。それでもおいしい食事作りに励んでいる今日この頃です。



めでたくそろったおひな様。みんなで作りしました。でも、どうしてお内裏様はなかなか座ってくれなかったのかな?

わけあり 介護員 鈴木 朋子

「鬼は外! 福は内!」2月の節分には豆まきならぬお手玉まきの鬼退治。手作りの鬼のかつらをかぶり逃げ回る私に「かぶらなくても角がはえてるよ」などの声が…。なぜ?こんなに優しい私に…。しかし鬼退治はだんだんとヒートアップ!!汗をかきながら、大門の鬼退治となりました。でも鬼は私?退治されたのは私だったのでしょ?でも、こんな事が言い合える楽しい大門が私は、大好きなのです。

そして、大門には少し早い春が来ました。毎月作っているカレンダーの3月に、満開の桜。壁には、ひな人形が素敵な着物を着て座っています。(上の写真)しかし、このひな人形、お内裏様がなかなか座ってくれず、おひな様は淋しそうでした。すると「現代の姿だな」「大門のようだ」これにはどんな意味が…。でも、やっとお内裏様が座り、おひな様を見ると、幸せそう!こんな、訳有りの大門の春をぜひ見にきて下さい。

施設内研究発表会

「嗜好調査をいかした、利用者に 望まれる食事づくり」栄養課

利用者から聞き取り嗜好調査を行い、調査結果と実施献立とを比較検討し、喜んでもらえる食事とは何かを考察する。沢山の意見をどう献立に取り入れられるか、これからの食事サービスを考える上で、重要な資料となった。

「入居者が積極的に食事作りに参加することによる 意識の変化」グループホームたきやま

「たきやま」では入居者への対応の見直しを図り、食事作りという手段を通じて、その人の状態像に合った支援を追求している。対象者を選び、食事作りにおける作業項目表をチェックしたり、実際の様子をビデオ撮影して検討材料としていた。今回、よりよい支援を行うには、入居者との信頼関係を構築し、生活力を見極めてそれに合った支援を知る事が重要であると認識した。

「高齢者の日常生活動作に与える環境色彩の影響」 (特別参加) 田嶋ビル(株) 田嶋 精二

高齢者の生活環境の向上を目指し、食事、集中作業、リラックスの3課題を取り上げ、これらに最も適した色彩環境と照明光についての実験評価を行い、検証することを目的とした。

〈実験結果より〉

各課題において、色彩では茶色。照明光では蛍光灯に高い評価がみられた。

2月18日(金)に研究発表会が開催されました。今回で早くも5回目になります。一層の充実をみせたその内容について報告します。

「サービスに対する意識の相違について」 ～利用者・家族・職員へのアンケート調査に基づき考察する～ 生活介護課・生活相談課

マザアス特養で提供している入浴、食事、排泄、医療、環境、外出といった具体的なケアについて上記三者にアンケートをとり、その結果を分析したものだ。利用者・家族と職員との間の意識の相違が示されたが、それは今後のサービスの質の向上に役立つ貴重な資料となるだろう。

「作業提供という関わりからみた 湧泉利用者の精神安定の事例」通所サービス課

痴呆性高齢者専用デイサービス「湧泉の郷」で簡単な手作業を行うことの意義を、事例を通して考察する。簡単で単純な作業は、指示が入りにくい痴呆性高齢者には特に有効であると考えられる。痴呆の進行を少しでも遅らせ、職員とのコミュニケーション媒体にもなる。さらに作業を通し、個々の残存能力を確認することができ、より良い個別ケアを提供することになり、それは利用者のQOL(生活の質)の向上へとつながっていく。



絵
し
が
み
(利用者の作品)



音藤キヌ様



大坂千代様

編集後記

昨年4月にマザアスのデイに来て1年が経ちました。長くもあり、短くもある1年でした。日々の仕事に追われ、新聞の原稿は一番後回しで、いつも期限を過ぎていました。

(笑)今年度は、忙しいことを言い訳にしないで何でもチャレンジするようにしたいと思います。まずは、冬の間になくなった体を軽くすることですかね。 浅香 美絵

特別養護老人ホーム マザアス東久留米	デイサービスセンター マザアス氷川台	ヘルパーステーション マザアス氷川台	居宅介護支援事業所 マザアス氷川台
Tel 77-7261	Tel 77-7263	Tel 77-7260	Tel/Fax
Fax 77-7500	Fax 77-7500	Fax 77-7500	70-1740
老人デイサービスセンター マザアス大門	東久留米市東部 在宅介護支援センター	グループホーム たきやま	グループホーム ひかわだい
Tel 70-0065	Tel/Fax	Tel/Fax	Tel/Fax
Fax 70-8024	73-9996	77-1525	77-2150